

千年王国Ⅱ 統治

2026年9月13日

ヨハネの黙示録 20章4～6節
詩篇 2篇6～8節
詩篇 72篇1～19節
イザヤ書 11章1～5節

序：千年王国：①大患難期の最後にキリストが地上に再臨されて反キリストと軍勢と戦い勝利、75日の移行期間の後に開国する
②永遠の御国（天国）ではない（地上に千年間続く王国）
③メシアが専制君主としてイスラエルも異邦人も統治する

I. 千年王国の王 = メシア、イエス・キリスト 専制君主

- ①神が御子を王として立てる 詩篇 2・6～8
- ②ダビデの王座に着き、イスラエルを治める
- ③永遠の神であり人としてはダビデの子孫
 - イザヤ 9・6～7
 - エレミヤ 23・5～6
- ④さばきと正義による統治
 - イザヤ 16・5
- ⑤その統治は異邦人の諸国にまで及ぶ（エルサレム⇒諸国）
 - ゼカリヤ 14・9

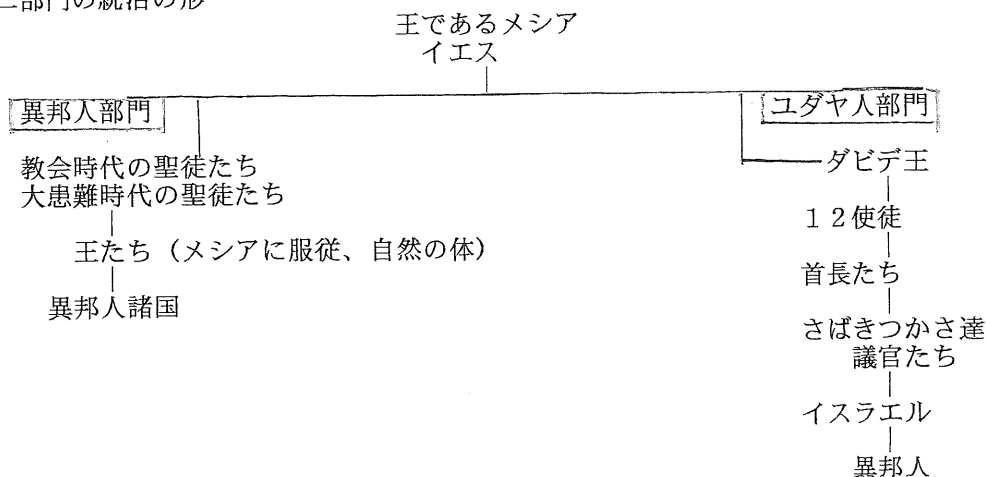
II. メシアの統治 詩篇 72・1～19

- 1～7 ①公正と正義と聖潔（罪なき者には義、罪人にはさばき）
- 8～11 ②統治は全世界に及ぶ（東西南北）
- ③諸国の王たちがみな王であるメシアに平伏す
- 12～15 ④鉄の杖で統治、不義を正す、義人を高上げる
- 16 ⑤豊かな収穫の約束
- 17～19 ⑥王による祝福 民は主をほめたたえる

イザヤ 11・1～5

- ①ダビデの子孫
- ②王には聖霊が豊かにとどまっている（知恵、悟り、思慮、力、知識）
- ③聖霊のもたらす効果（主を畏れる、正義と公正によるさばき、処罰）
- ④特徴＝正義と真実

III. 二部門の統治の形



Ⅳ. 教会時代の聖徒たちと大患難時代の聖徒たち 黙示録 20・4～6

- 4 ①メシアとともに統治する人たちがいる
- ②さばきを行う権威が携挙された教会時代の聖徒たちに与えられた
キリストの御座のさばきを通過（業を評価され、地位が決まる）
- ③大患難時代に信仰のために殉教した人たち
- ④ “ ” 後半に殺された人たち
- 5 第一の復活完結（イエス、教会時代の聖徒 二人の証人がすでに復活）
（旧約の聖徒たち、大患難時代の聖徒たちは75日の断絶間）
- 6 ⑤メシアとともに異邦人諸国を統治（王の代理人、法令執行）
自分の国、自分の民族を統治

Ⅴ. ユダヤ人部門

- ①復活したダビデ：王であり君主 メシア直属、イスラエルを統治
イスラエルは主と王に仕える エル 30・9、イザ 34・23～24、37・24～25、サ 3・5
- ②12部族を統治する12使徒 マタイ 19・28 ルカ 22・28～30
- ③首長たち イザ 32・1 イザ 45・8
- ④さばきつかさと議官たち イザ 1・26
- ⑤異邦人を統治するイスラエル 申 15・6 28・13

Ⅵ. まとめ

- (1)千年王国の統治は二部門（異邦人とユダヤ人）ある 専制君主制、君主はメシア
- (2)ダビデは復活して、メシアの直属でイスラエルの王として治める
- (3)復活体を持つ者と自然体を持つ者とが存在する
- (4)第一の復活（信者の復活）は千年王国開国前に完結している
第二の死は無力
- (5)第二の復活（不信者の復活、第二の死）は千年王国の終わり、最後の審判の時に
なる ⇒白い御座のさばき
- (6)私たちはメシアとともに異邦人諸国を統治する（王の代理人）
私たちは、それぞれ自分の国と自分の民族の統治を委ねられる